

次世代型太陽電池実証事業

事業の目的・概要

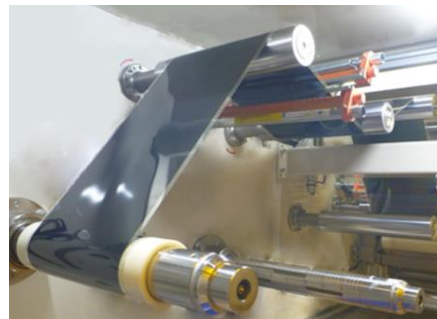
- ペロブスカイト太陽電池の実用化へ向けて一定条件下（日射条件など）での発電コスト14円/kWh以下を達成するため、品質を安定させつつ大量生産可能な量産技術の確立に向け、一連の生産プロセス（ライン）として高いスループットや高い歩留まりを実現する技術開発を行う。
- 量産技術の確立と並行して、ペロブスカイト太陽電池の特徴である軽量性・柔軟性を活かした設置方法や施工方法などを含めた性能検証のため、国内外の市場を想定したフィールド実証（建築物などの実用箇所への施工、運用試験）を行い、必要に応じて検証結果を踏まえた改良を行うことで、ペロブスカイト太陽電池の実用化を促進させる。

今回採択したテーマの規模等

- テーマ期間 : 2024年度～2028年度（5年間）
- テーマ規模 : 約183億円
- 支援規模* : 約125億円
*インセンティブ額を含む。
採択予定額であり、契約などの手続により変更の可能性あり。
- 補助率 : 助成2/3、1/2

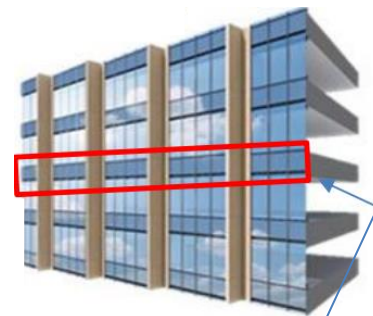
事業イメージ

量産技術開発



(積水化学工業株式会社 提供)

フィールド実証



スパンドレル部（※）外壁面内部

実施体制

テーマ名

軽量フレキシブルペロブスカイト太陽電池の量産実証

事業者名

積水化学工業株式会社
東京電力ホールディングス株式会社